

旭操セーフティーズ

※世帯数及び人口は令和4年4月1日現在

中区	小学校区・地区名	旭操学区	世帯数	3,949 世帯	人口	8,917 人
----	----------	------	-----	----------	----	---------

■はじめに

旭操学区の南には、国道2号線やそれに接するトラックターミナルがあり、交通運輸の拠点ともなっている。昭和30年代前半までは水田地帯が広がっていたが、次第に宅地化が進み、それに伴い人口や交通量も増加。学区内の多くの道は細いが、トラックターミナルがあるため乗用車だけでなく大型トラックも行き交い、特に子どもたちの通学時間帯は通勤等の車で混雑する。

■旭操セーフティーズとは

「旭操セーフティーズ」は、地域の交通安全活動の中で子どもたちの安全・見守り活動に特化するため、平成18年に防犯協議会から枝分かれし設立。学校園とも連携し、学区における子ども関連の活動を一手に担っている。

【旭操セーフティーズ構成団体】

旭操学区連合町内会・コミュニティ協議会・社会福祉協議会・防犯協議会・交通安全対策協議会・交通安全母の会・体育協会・環境衛生協議会・婦人会・愛育委員会・民生委員児童委員協議会・老人クラブ・子ども育成会・あけぼのクラブ保護者会・親子クラブ・操南中学校PTA・旭操小学校PTA・旭操幼稚園PTA

■活動の内容

【子どもたちの見守り活動】

オレンジのユニフォームを着用し、学区内の通学路23か所で登下校時の見守りを行っている。令和2年度ではコロナ禍により活動日数は減ったが、それでも実動日数200日で延べ7,600人が子どもたちの見守りを行った。また夏の夜には、各PTAや学校園の先生たちと見守り歩きもしている。



【あいさつ運動】

子どもたちの登下校時に旭操セーフティーズが率先して、「おはようございます」「おかえりなさい」



などの声掛けを行っている。子どもたちも自分からあいさつができるようになっている。また旭操小の校門前では、富山交番の警察官がセーフティーズと共にあいさつ運動に参加している。

【ふれあい会】

老人クラブなどを中心に昔遊びや昔の食べ物を子どもたちに教える交流を行っている。



【防犯パトロール】

現在、2台の青パトでパトロールも行っている。



■活動の成果

学区内で「セーフティーズ=オレンジのユニフォーム」という認識がされており、子どもたちや地域の人から挨拶や声掛けが自然とされるようになった。

■今後の課題・展望

近年、各地で災害が頻発している。今後は学区の防災活動にも取り組んでいく予定。その一歩として学区民を対象にアンケートを実施し、普段の困りごとや災害に対する対策や要望など様々な意見を集約した。これから、この意見をどう生かしていくかを検討している。また、災害時の要支援者についても町内会と協力して取り組んでいく。

■その他

旭操学区連合町内会（電子町内会）ホームページ
<http://townweb.e-okayamacity.jp/c-kyokusou-r/>